

# 平成28年度 高根中学校 校内研の概要

## 1, 研究主題

『確かな学力の向上を目指して』

～生徒が主体的に学ぶ授業づくりを通して～

## 2, 主題設定の理由

本校では、複数年計画で「教えて考えさせる授業づくり」に取り組んできた。また、「確かな学力の育成」「学力の向上を目指して」平成25年度より研究を進めてきた。これまでの研究成果として、基礎を知識、基本を技能ととらえ、先行学習において基礎を押さえ、授業に参加する者が共通意識を持って臨めるようになったことが挙げられる。

本年度は基礎・基本の確実な習得と、思考力・判断力・表現力の育成のバランスをとりながら意図的に授業設計することを中心に研究を進めていきたいと考え、研究主題は引き続き「確かな学力の向上を目指して」とし、生徒の確かな学力の向上を目指して取り組みをさらに進めていきたい。そのためには、生徒が課題解決に向けて主体的に学ぶ姿勢が重要であり、その中には、知識を操作する能力（活用や探求、課題解決等）や、知識を介して他者とのつながりや集団の中で活動する能力（ディスカッションやプレゼンテーション等の言語活動）が求められる。特に本年度は、生徒が授業の目標・ねらいを把握し、見通しを持ち、身につけた知識や技能を駆使して課題解決に向けて動き出すことが重要であり、そのような授業づくりを目指したいと考え、副題を「～生徒が主体的に学ぶ授業づくりを通して～」とした。

## 3, 研究仮説

授業の始めに、生徒に目標を明確に示し、目標達成への見通しを持たせ、互いに学びあう場面を設定するような授業展開を工夫し、さらに、授業の振り返りをさせることで、主体的に学ぶ生徒が育つであろう。

## 4, 具体的な研究内容

①生徒が主体的に学ぶ授業をつくるための理論研究。

②実践授業

## 5, 組織について

①研究推進委員会

②校内全体研究会（月例研究会）

## 6, 今年度の取り組み日程

4月 本年度の研究の方向性の検討

5月 理論研究（指導主事を招聘し研究方法の共有化を図る）

6月 指導案検討（社会科・理科）

- 7月 社会と理科の実習授業についての研究会  
1 学期の研究のまとめ
- 8月 学習会（指導主事の招聘）
- 9月 指導案検討（体育・数学）
- 10月 体育と数学の実習授業についての研究会
- 12月 新採（保坂勇美先生）の研究授業（指導主事の招聘）
- 12月 2 学期の研究のまとめ
- 2月 研究紀要の作成について
- 3月 平成28年度の研究のまとめ  
研究の成果と課題の明確化  
平成29年度の研究の方向性についての検討